

## 平成 29 年度第 3 回（第 43 回）浜田市行財政改革推進委員会 会議録

日時 平成 30 年 1 月 31 日(水)

15 時 00 分～17 時 30 分

場所 浜田市役所（4 階）講堂

[進行／行財政改革推進課長、会長、副会長]

<b>◆ 開会（15 時 00 分）</b>	
行財政改革推進課長	<p>定刻になりましたので、只今から第 43 回、本年度第 3 回目の浜田市行財政改革推進委員会を開会します。</p> <p>事務局を努めます行財政改革推進課長の西谷と申します。</p> <p>本日は、寒い中をご出席いただきまして誠にありがとうございます。皆様には日頃から行財政改革、あるいは市政運営にご協力いただきましてありがとうございます。</p> <p>本日は、初めての試みとして、委員の皆様で今後の行革について意見交換をしていただきます。その意見を参考に、今後、行政としての施策を検討していきたいと考えております。</p> <p>開会に当たり、光延会長よりご挨拶をお願いします。</p>
<b>1 あいさつ</b>	
光延会長	<p>皆さん、こんにちは。新年明けましておめでとうございます。もう 1 月末で節分が控えておりますが、旧暦でいけばまだ正月ですね。</p> <p>本日用初めの試み、ワークショップと言いますが、私たちは学生相手にやっています。人数が多いとなかなか発言がしにくいという時には、比較的少人数で分かりやすく意思の疎通ができるという意味で有意義かと思えます。セレモニーのような会議で審議会を開くのも 1 つの考え方ですけれども、今日のように経験を積むということも重要なことです。忌憚のないご意見をお伺いして、この会を成功裡に結びたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
<b>【会議の進め方】</b>	
行財政改革推進課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日の会議につきまして、進め方をお知らせさせていただきます。できるだけ和やかな意見交換会にしたいと思っております。</p> <p>レジュメにありますように、2 つのテーマに絞ってご意見をいただきたいと思っております。</p> <p>1 点目は「新たな行革の取組について」、2 点目は「スポーツ施設の再配置について」というテーマで意見交換していただきたいと思っております。</p> <p>各班でご意見をまとめていただいた後、各班から発表いただきたいと思っております。会議の終了時刻は 17 時 30 分ということで約 2 時間半程度ですけれども、よろしくお願いします。</p> <p>本日の全体進行を、前回の会議でこの意見交換会を提案していただきました豊田副会長に、ファシリテーターということで進めていただこうと思っております。他の自治体の取組事例も踏まえてお話しいただけるといいますので、豊田</p>

副会長、よろしくお願いします。

## 2 行財政改革の推進に関する意見交換会

### (1) テーマ「新たな行革の取組について」

豊田副会長

皆さん、こんにちは。よろしくお願いします。

私もこの立場になることは慣れておりませんので、皆さんに助けをいただくことも多いのかと思いますけれども、今日はやっていきたいと思います。

前回の委員会で提案させていただいた意見交換会を、今回、このような形でやらせていただくことになりました。この委員会では行革や公共施設の再配置について審議しておりますけれども、皆さんが日頃から思っている行革の取組で、もっとこんなことをやったらよいのではないかと、こういうことをやったら面白いのではないかとという気付き、アイデア、希望といったことを共有することが重要なことと考えております。今後、更なる行革を進めていく中で、新たなアイデアが必要になってくると思います。今日は、ザックバランでかまいませんので、アイデアを共有する場だと思って参加していただきたいと思います。

本日は、先ほど説明にありましたように、「新たな行革の取組について」と「スポーツ施設の再配置について」の2つのテーマで、ワークショップを行います。

この委員会では、行財政改革の取組について市長に助言できることとなっておりますので、本日の意見を参考に今後の取組に活かせるよう、皆さんから積極的な意見を発言していただきたいと思います。

まず、グループワークの方法を説明したいと思います。各班の班長に進行役をお願いしています。A班は光延会長に、B班は島口委員さんに、C班は田中委員さんに進行役をお願いしておりますので、進行役の方に進めていただきたいと思います。

お手元に各委員から提出された意見書を配付しております。まずはそれを眺めながら、最初の30分間で意見交換をしていただき、後の10分間で意見の集約、その後の10分間で発表をしてもらいたいと思います。発表時間が3班で10分間ですので、それぞれのグループ3分程度で話し合った内容をまとめて発表してください。

グループワークのルールですが、堅苦しいルールはありませんので、今日はワイワイと楽しくやることをモットーとして、できるだけ楽しく、色々な意見を出せるようにしてもらいたいと思います。

時間が限られておりますので、一回の発言はできるだけ手短かに簡単に行ってください。

そして、他の人の発言に割り込まない、否定しない。今日、決定するものではありませんので、皆さんに自由なアイデアを出していただけるよう、出てきた意見を否定したり、割り込んで発言したりということはないようにしてください。

そして重要なのが、誰が言った意見かは問いません、ということです。皆さん、地域の代表であったり、産業界の代表であったり何かの代表をされている方が多いと思いますけれども、今日は、浜田市全体のことを考えた上での発言やご提案をお願いいたします。

参加型で行うメリットは、受益者のニーズに即したことができる、参加者が主体性を持って考えることができる、効率的な計画を立てることができる、透明性があるということです。

色々とところでの事例がありますが、今日は、大田市の事例を紹介させてもらいたいと思います。大田市では、市民と一緒にグループワークを行っておられまして、今年度、市民を巻き込んだ会議が何回か行われましたので、それを紹介させていただきたいと思います。

テーマとしては、「ハコモノしゃべり会議2017」という共通テーマが掲げられています。始められた背景としては、大田市の公共施設、ハコモノをこれから3割削減するということが決定されたところからです。3割削減することをピンチと取るか、チャンスと取るか。削減をしないとイケないということに対して、それを契機に新しい地域づくりというものを住民も交えながら考えていきたいということで、市民参加型のものを始められています。

どんなことをやっているかということ、私も委員として参加している大田市の公共施設最適化計画策定委員会が主体となって、最初は温泉津や、大田などに集まって、ハコモノについて自由におしゃべりする「はこcafé」ということをやりました。

第2部では、ハコモノへの疑問を集めて、それに対するアンサーを委員会で考えてみようという「はこQ」をしました。

最後の「はこP」というところでは、使いやすいハコモノのアイデアを考えていくということで、それぞれのグループに分かれて、今あるハコモノを減らすにはどうしたらよいか、使いやすいものにするにはどうしたらよいかということをお話しました。

最終的には、「大田ハコモノ市民白書」を作ることを、市民目線でハコモノについて考えたものを取りまとめるというところを目標とされています。

参加して感じたことですが、これまで施設を使っている中で使いにくいという不満を持っていたり、（大田市には）ハコモノが多いと思っている皆さんも結構多く、削減に対してはプラスのイメージがあるけれども、削減するならば、例えばハコモノをユンボで壊すような体験イベントにして、ユンボの技術も得られるようなものにしたらどうかとか、いらぬと思われているようなハコモノを巡るようなツアーを作ったらどうかとか、色んな意見が出てきました。

参加者の多くは市民ですけれども、市役所の担当部署以外の方も参加していました。人数合わせもありますが、普段、それぞれの業務についているとなかなか他の部署が関わっていることに発言できないということで、他の部署の方が積極的に参加して、今、自分はこう思っているということを発言しているの

	<p>も印象的でした。他自治体の事例を紹介させていただきました。</p> <p>本日の最初のテーマは「新たな行革の取組について」です。班の中に、事前に意見を出された方がいらっしゃる場合は、その意見を見ながら、こういう意見があるんだなというところから始めていただけたらよいと思います。「市民ニーズの多様化や複雑化、社会保障関係経費等の増加に対して、限られた職員数、財源で対応するために、新たな行財政改革が求められています。更なる行革を進めるためにはどうしたらよいのか。」ということを考えてもらいたいと思います。</p> <p>最初に言った、ここをこうすればよいのに、こんなことがあったらよいのではないかという気づき、不満、アイデア、疑問、希望といったところを共有してもらって、その提案を実現化するためにはどうすればよいのか、というところに意見を集約していってもらいたいと思いますので、このようなプロセスで進んでもらえたらと思います。</p> <p>それでは、それぞれの進行役の皆さんにバトンをお渡ししてよろしいでしょうか。</p> <p>質問があればどうぞお願いいたします。</p> <p>決まったものではありませんし、ゴールが1つにまとまらなくても結構です。色んな意見を交換するというのがメインですので、自由にお話ししていただければと思います。それでは、よろしく申し上げます。</p>
<p><b>グループワーク</b>      <b>テーマ①「新たな行革の取組について」</b></p>	
<p>豊田副会長</p>	<p>そろそろ時間ですので、発表の方、お願いします。皆さんがどのようなことを話し合われたのかを隣のグループにも紹介していただきたいと思います。それではA班からお願いします。3分たったらベルを鳴らしますので、まとめてください。</p>
<p>賀戸委員</p>	<p>A班の発表を担当させていただきます賀戸と申します。よろしく願いいたします。</p> <p>A班では、5つ程問題が出ました。その1つは公共交通対策です。運転できなくなった時どうするのかということで、不便に感じている部分を聴くとか、ニーズに合ったようなバスの便のあり方も、もう少し市民を巻き込んで取り組んでほしいということです。</p> <p>もう1つは補助金の見直しです。これは誘致企業の補助金なり、農業の補助金なり、市だけではないと思いますが、基準を見直す必要があるのではないかと思います。</p> <p>それから、市役所の組織の見直しです。これは職員さんでないと分かりませんので、職員さん同士で話をして、ぜひ意見を出してほしいと思います。</p> <p>それから適切な情報公開です。例えばふるさと納税は10億円入ったらそのうち5億円は仕入れに回しました。そこの業者はいくら納税されました。というような情報をぜひ市報等で知らせしてほしいという意見が出ました。</p> <p>それから、浜田市もぜひ1つの企業としてビジネスをすればどうだろうか</p>

	<p>いう意見がありました。市のトップの方には、浜田市はどの産業に力を入れていくのか、農業か、林業か、水産業かということを決めていただいて、そこへ、多くの補助金を使っていくのがよいのではないかと。それで儲けようという意見が出ました。以上です。</p>
豊田副会長	<p>ありがとうございました。それではB班お願いします。</p>
下谷委員	<p>それでは、B班がまとめたものを発表します。</p> <p>ハコモノの多目的利用という意見が出ました。例えば、世界子ども美術館ですが、ここは随分広いので、老朽化したハコモノ（の機能）をここに集約してどんどん利活用しましょうということです。公共施設はあまり費用対効果を考えません。しかし、どんどん社会保障費は上がる、公債費比率も比例して上がるということを考えてみた時に、将来の浜田市を担う若者に借金を残さないという話が一番でありました。</p> <p>次に自治区制度についてですが、来年、再来年になると議会の方で自治区制度の廃止あるいは継続の議論がされると思います。旧浜田市、旧金城町、旧三隅町の時にハコモノが随分建っております。しかし、今はハコモノを建てる時代ではありません。今のハコモノをどういうふうにも再利用するか、耐震強度はどうか。例えば、三隅自治区はこの大きな建物に集約しようといったようなことをしていかなないと、先ほど言いましたように、若い方にとって魅力がなくなるということです。</p> <p>3点目に施設の見直しですが、これは先ほど言いました統廃合しよう、自治区の特色を活かそうということです。今まで自治区制度を11年間やってきました。自治区制度とは何かと言いますと、各自自治区の特色を活かしながら行政をしていこうというのが自治区制度の根幹です。いくら自治区がなくなったからと言って（ハコモノを）廃止するのはいけないよということです。</p> <p>皆さんから色々なご意見をいただきました。費用対効果も考えていかななくてはならない。将来的な財政負担をどうするのか。主要施設の分散。抵抗があるかもしれないけれど、今、一生懸命汗をかいてそういったものを示していかないと将来性は見えてこないという結論になりました。以上です。</p>
豊田副会長	<p>ちょうど3分です。ありがとうございました。それではC班お願いします。</p>
樫山委員	<p>まず第1に、過去に委員会に出していただいた市の分厚い資料、何千円削りました、何万円削りましたといった資料がありましたけれども、浜田市は行革をやっていますということを、どの資料を基に市民に示されるのか。あの資料では浜田市が行革をやっているということが、本当に市民には分かりません。サマリーでもよいので、市民が見て分かるような資料をまず作るべきだろうということです。</p> <p>それと遊休施設の譲渡です。これは当たり前のことですが、何をもって遊休かということは、各地区、地域によって当然意見が違ってきます。外からみれば遊休でも、中の人は必要だということがあります。</p> <p>それと、公民館についてですが、今現在、公民館活動を活発にやっていらっ</p>

	<p>しゃって、本当に成功しているところがあります。そういうところは、何を、どのようにやっているから成功している、ということのを他の公民館に教えたことがあるのかどうか。成功事例を同じような施設の館長、または関係者に知ってもらって、そういう方向を目指してもらう必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>それから、補助金等に関してです。今まで資料には、産業経済部からしか補助金に関して出てきていません。他にも農林など色々なところに補助金があります。基本的に補助金は年限を切る。年限を切って、その時点で、再度本当に必要かどうかもう1度検証する。そういうことが必要だろうと思います。</p> <p>以上、3点です。</p>
豊田副会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>私は各グループの話を聴きに回っていたんですけども、皆さん、色々と実情をご存知で、具体的な話をされていて、どのグループもそれぞれ聞きたい話、勉強になるような話が多くありました。最後に取りまとめて言いたいと思いましたが、非常に幅広いテーマでの議論だったと思います。最終的にまとめることに苦勞されたかと思いますが、ありがとうございました。</p> <p>今日の話合った内容を記載した用紙を、皆さんに持ち帰っていただくことになっておりますので、参考にさせていただけたらと思います。</p> <p>第1部のグループワークはこれで締めたいと思います。</p>
<p><b>2 行財政改革の推進に関する意見交換会</b></p> <p><b>(2) テーマ「スポーツ施設の再配置について」</b></p>	
豊田副会長	<p>テーマ2の「スポーツ施設の再配置について」グループワークを行います。</p> <p>現状・課題ですが、「平成29年5月にスポーツ推進審議会より「スポーツ施設の適正な配置及び整備について」答申を受けて、議会や各自治区地域協議会等に答申内容の説明を行うとともに、10月から1カ月程度かけ、施設利用団体に対し、意見聴取会を開催したが、存続や改善を望む厳しい声が多かった。最終的には、答申を尊重しながら今年度中に施設整備計画(案)を策定する予定で、施設所管課と協議を行っているが、各論反対が想定される中、どのように計画策定を進めるか苦心している。」ということで、スポーツ施設の集約化を進めなければいけません。どうやって再配置を進めていくべきか、現状・課題を踏まえ、何を切り口にスポーツ施設の再配置を進めていけばよいかということ。それでは、意見交換を始めてください。</p>
<p><b>グループワーク      テーマ②「スポーツ施設の再配置について」</b></p>	
豊田副会長	<p>そろそろ時間ですので、発表の方をお願いします。それではA班からお願いします。</p>
岡本薫委員	<p>浜田市の財政面から考えますと、合併して重複した施設の集約化は当然必要です。その状況の中でも、利用頻度や利便性には言及せず各地区を見ると、三隅にはよいプールがありますし、弥栄にはフットサル場、金城、旭にはよい野球場があります。そういうふうに分散しながらよい施設を残して、特色を持</p>

	<p>って進めていったらよいと思います。そうすることによって、各自治区にも人が集まるということで活性化も図れます。費用的には変わらないでしょうが、元気や賑やかさが出てくるという部分ではよいと思います。代わりに、移動手段が不便なところも出てまいりますから、そういう部分を検討して、財源を切るということではなく、利用料の低減など利用促進を図っていくべきだと考えます。</p> <p>ただし、一方的に決めるのではなく、時間をかけて住民と話し合い、あるいは、跡地の利用の方法等も含めてしっかり住民に理解を得られるように進めていかなければならないといった話でした。</p> <p>その他ですが、色々な施設を指定管理されていますけれども、内容や金額といった情報が全然ないので、よいのか悪いのか、どの程度お金がかかっているのかが分かりづらく、判断する為には、そういった情報ももう少し丁寧に公開した方がよいのではないだろうか、という意見でございます。以上です。</p>
豊田副会長	<p>ありがとうございました。それではB班お願いします。</p>
三浦委員	<p>B班の三浦です。発表させていただきます。</p> <p>まず、資料1-2の意見書を見ていただくと、私が6番で「再配置を進めるための基準を設定する。利用状況、老朽化度、耐震性」としております。これでバサバサと削減、集約をしていくという感じで書いておりました。ところが私の班ではそれは困ると、やっぱりきちんと皆の意見を聞きながらやるべきだという意見が出ました。</p> <p>スポーツ推進審議会から出されました答申のA～Dの評価は尊重すべきであって、これに基づいてこれから市が実行していくわけですが、その時によく気を付けていただきたいことがあります。まず、遊休地がいっぱい残っているのに、さらにお金をかけてまで施設を解体していくということは、膨大な費用がかかることであり、それは考えるべきではないか。もっともっと住民の声を聞いて、高齢者の健康のための施設、場所にするとか、災害時の避難場所にするとか、色々な利活用の方法があるはずなので、そのことも考えるべきではないか、という意見がありました。</p> <p>それから、浜田市がスポーツ全体の考え方を明確に出すべきではないか。浜田市はスポーツ都市宣言をしていますけれども、浜田市はこうするというものが見えてきません。スポーツに対する全体の方針を浜田市がきちんと出して、それに対して施設はこうなんだ、これだけいるんだというところを明確にすべきであるという意見もありました。</p> <p>それから、答申を受けて、これから利用団体や地元と話し合う中で、利用者から利用アイデアを出していただくような話し合いの場を積極的に設けてはどうか。利用率が上がれば、皆さんが喜んで利用されて、残っていく可能性もあるのではないだろうかということでした。</p> <p>色々な評価を受けて取り壊したり統合したりするべきですけれども、設置した経緯というものが必ずあるはずなので、その経緯をしっかり大事にしながら、</p>

	<p>スポーツの振興、教育、災害時の避難といったこともしっかり考えて、地元の意見もとにかくよく聞いて、統合なり廃止なりそういうことを決めていくべきだという結論が出ました。以上でございます。ありがとうございました。</p>
豊田副会長	<p>ありがとうございました。それではC班お願いします。</p>
富金原委員	<p>失礼します。C班でございます。</p> <p>まず、審議会から出ている答申ですが、これはよくできているので、これを踏まえて進めていくことが基本にあります。この答申は利用状況とか維持管理経費、老朽化度、類似施設といったものの検討を基にされていますけれども、もう少し違った角度から検討する必要があるのかなと思います。お手元に配布されている資料1-2を見ていただきますと、No.9のところに、(1)利用状況、(2)更改経費額、(3)近隣の同施設、(4)交通の便、(5)周囲への環境の影響、(6)耐震性、(7)施設保持・維持管理経費、(8)用途変更の可否、(9)危険性、(10)老朽化、とあります。この10の視点から分析、検討していただければよいのではないかと思います。</p> <p>先ほどB班の方からも話がありましたように、教育委員会として、社会体育なりスポーツの振興をどの様に捉えているのか、あるいはどのようにしたいのかということ踏まえた上で、(審議会に)諮問し、答申されているのかどうか。当然、社会体育なり、スポーツは振興していく必要があります。そういう前提に立って、今ある33施設を、どういうふうにしていくのがよいか、ということ教育委員会の方から方向性が示されるべきだと思います。その辺りが示された上でこの答申があるのかどうか分かりませんが、教育委員会の考え方、方向性を示された上で、地域の説明会なりに臨んでいただきたいと思います。</p> <p>今後のことですけれども、全般的に、施設の整備について考えていくにあたって、新市に合併して10年も経ちます。市民の利便性、あるいは、市外の方も県の大会など大きな大会を浜田市で開催されますので、市外の利用者の利便性も考えていく必要があるだろうと思います。そういったところが重要になってまいりますと、やはり浜田を中心としたところに施設の整備というものが図られていく方向性になるのかなという議論をしました。経済への波及効果にも大きく影響しますので、どんどんスポーツ振興をやっていただいて、多くの方々を浜田市に呼んでいただくような施策をお願いすればよいかなという意見でした。以上でございます。</p>
豊田副会長	<p>ありがとうございました。テーマは同じですけれども、違う角度から意見が出たのかなと思います。集約化や情報公開の意見を出されたところもそうですし、答申に従ってそのまま進んでいくけれども、住民からの声を積極的に聞いてもらった方がよいという意見、違った角度からの評価をしてほしいという意見等が出たと思います。短い時間でしたけれども、ディスカッションしていただきましてありがとうございました。こういう委員会の意見が、今後の話し合いの中で活かされてくればよいのかなと思います。</p> <p>あとの時間は総評ということで十分な時間が取っておりますので、そんなに</p>

長い総評はありませんけれども、今日の感想を話していきたいと思います。

皆さん、それぞれ産業界の方であったり、地域の方であったり、他の委員会に参加されている方が多いと思います。そこでお話を聞いているということもあって、実情を知っている上でご発言をされている方が多いように思いました。

例えば、ある補助金は実際こうなっているという実情を踏まえながらディスカッションされていて、その意見が他のチームとも共有されたということは、皆さんにとっても有意義であり、市役所にとってとても非常によいのかなと思います。

皆さんの知識量が非常に多いなと感じました。皆さんもそう思われたかなと思います。やはり皆さんの知識というのは、ある部分では市の方よりも多いところがあると思いますので、こういう自由な意見を通して政策に活かしていけるような場というのは、非常に重要なのではないかと感じているところです。

いくつか市に対しての注文がありました。組織の改編もそうですけれども、よく出た意見として情報の見える化をしなければいけないという意見が多く、重要なのかなと思いました。行革をやっているけれども、やっている効果ですとか、やる意味というものを市民の方に知ってもらうということ。

指定管理も先ほどありましたけれど、情報というものを市民の方に知ってもらうということ。なぜ重要なのかというと、それを通して自分たちの行動を省みる機会になるかもしれないし、新たなアイデアが見つかるきっかけになるかもしれないという非常に重要なことだと思います。分かりやすい資料という意見が出ましたけれども、資料としてはたくさんあるけれども、市民の方から見て理解できるような分かりやすい資料の作成、そして広報というものが必要なのかなと思います。

他からの視点ということで、成功事例を知っている人から、こういうのがあるよと紹介されていて良かったと思います。成功事例を知っているというのも1つの強みですので、それを参考にしながら、浜田市もより行革を進めていかないといけないのかなと思いました。また、Iターン、Uターンどちらも、外に1回出られて帰って来られた方、新しく来られた方の意見では、浜田市に来てからこう思った、こういう無駄なことがあるのではないかとということが、より具体的な視点で話されていたので、今後、そういった方たちからの意見を積極的に聞き出すこともよいのかなと感じました。

成功者の地域内のシェアということで、成功している人たちが1人で成功しているのではなくて、積極的に地域内で情報を共有できるような仕組みというものも今後重要になってくるのかなと思うところです。

今日は皆さん、使用者の視点であったり、市の視点であったり、色々な視点で参加されたかと思います。本来ならば、委員会では地域の代表であったり、産業界の代表であったり、それぞれの立場で参加されているので、あまり市全体のことを見て発言するという機会がないかもしれませんが、こういう

機会を通して全体のことを考えながら進めていかなければ、今後の行政は成り立っていかないのかなと感じるところです。

特に今後10年は、交通面など非常に大きく変わりますし、特に情報の部分も大きく変わっていきます。自動車は自動運転になったり、大きな技術進化がここ数年単位で進んでいくと思います。ですので、考える時にはそういう技術進化を見据えた上での計画という視点が重要かと思うところです。

もう1つは、中山間と言いますか、何もなくてということによって人口がどんどん減っていているという現状がありますけれども、実は非常に豊富な資源が私たちの地域にはあるわけです。その資源をどう活かしていくのかということを考えていかなければいけません。例えば、今、私は環境関係で再生可能エネルギーを作る審議会に入っています。都会から会社が来て、田舎に再生可能エネルギーの発電所を作っています。その売上は高い金額で買い取られているので、どういうことが起こっているかということ、田舎に投資をして利益も全部都会に持っていかれているという状況だと思います。そうではなくて、本来ならば私たち住民がお金を出し合って、地域に投資をして、地域が儲かったお金を自分たちで共有するというシステムを作っていかなければならないと思います。私たちの地域がこれだけ危機なんだとか、これだけ資源が豊富にあるんだとか、そういう情報を共有する場、機会というのがこれから重要になってくると思います。本日、意見交換会を開催しましたけれども、これからも市のあり方であったり、日本全国で言えますけれども、地域の作り方を考えていく場合には、こういう場で話し合って、自分たちの利益がたくさん出るようなやり方で進めていかなければならない機会が増えてくると思いますので、また、このような形でできたらよいなと思います。

それでは、事務局からコメント等ありますか。

行財政改革推進課長

皆さん、約2時間にわたってグループワークをしていただきましてありがとうございました。

今回、初の試みということで、戸惑った方もいらっしゃるかと思います。私は、去年4月に行革に異動して来まして、少しずつ色んなやり方を変えていく必要がものによってはあるのかなと思っております。そういった中で皆さんと色々と意見を交わしながらやっていく必要があるのかなと思ひまして、今日のグループワークに至ったという経過もございます。また、もう1つは一部の委員さんからももう少し皆さんの意見を交換する場がほしいという声もありましたので、今日の会議がこのような形で行うことになりました。

先ほど豊田副会長の方から、今日の総評をいただきましたように、やはり、市民の皆さんに分かりやすい資料、情報提供といったところで透明性をさらに進めていく必要があると再認識をしたところです。

それから財産の処分、遊休財産の有効活用は当課で進めているところでありますけれども、これから更に進めていきたいと思っております。

テーマ②の方では、今後の切り口、あり方というところで非常に難しい内容

	<p>だったかと思えますけれども、事前に色々ご意見もいただいて、非常に参考になるような事項がありました。そういったご意見を踏まえて、今後、しっかりと進めていきたいと思っております。</p> <p>今、お配りしております資料で、1点情報提供させていただきます。明日から2月になりますけれども、企画提案型の有料広告事業を浜田市で実施することとなりました。月額5,000円以上、年額60,000円以上で、広告掲載を希望する方を募集します。あくまでも企画提案型ですので、どういう内容の提案があるか分かりませんが、色んな提案をいただきたいと思っております。こういった形で少しずつ自主財源の確保、あるいは経費の節減に繋がる部分もあろうかと思っておりますので、普段やっている有料広告事業に続いて、進めていきたいと思っております。</p> <p>ちなみに、この事業につきましては、行革の実施計画の中にある取組項目の1つとして取り組んでいくということで情報提供させていただきます。ありがとうございました。</p>
<b>3 その他</b>	
豊田副会長	それでは、その他のところで何かありますでしょうか。
行財政改革推進課長	<p>その他ということで情報提供させていただきたいと思えます。事務報告という形になりますが、今後の会議の予定をお知らせいたします。</p> <p>前回、第2回目の会議を10月下旬に行い、公共施設の再配置実施計画の案をご審議いただきました。その後、市議会の特別委員会に諮ってご意見をいただくということにしておりましたが、委員の改選時期の関係で、まだ特別委員会で審議出来ていないという状況がございました。その特別委員会が、来週の2月5日（月）に本庁の5階で開催されます。その場でご意見をいただいて、その後修正がありましたらその意見を反映した形で、恐らく3月位に公表するという形になります。</p> <p>それから来年度の予定です。来年度につきましても、今年度と同じように行革の実施計画と公共施設の再配置計画、こちらの2点について、それぞれ分けて会議を開催する形でご審議いただくことを考えております。</p> <p>また、必要に応じて、本日のような意見交換の場を設定することも検討したいと思っております。</p> <p>最後に、中期財政計画及び見通しという資料を、本日、配布させていただきました。昨年の12月に議会の中で財政課から説明をしたものです。本日は説明いたしません、またご覧いただきたいと思っております。</p> <p>事務連絡は以上です。</p>
<b>◆ 閉会</b>	
光延会長	それでは最後に挨拶ということですが、話せば分かるというのは、昭和7年の1932年、5.15事件、岡山出身の犬養毅が殺害された事件です。彼が本当に話せば分かると言ったかどうかは、詳しくは私も分かりませんが、今日、

皆さんが一緒に取り組まれたこと、話せば分かるということで、多分、分かったのではないかと。今まで、審議会ではなかなかお互いに考え方など分からなかったのが、今日は分かった、ということではないかと思えます。やり始めはなかなか難しいのですが、やった後は、高揚感と言いますか、やってみて良かったなど多少なりとも思われたのではないかと思えます。ということで、今後もあるかどうかは分かりませんが、このホットな気持ちを、今日はこの後会合があるようですので、そこに引き継ぎたいと思えます。今後、この会議は当分お休みになりますけれども、また次年度開かれますので、そこで話せば分かる、話し合いを、行革の会議をお願いしたいと思えます。お疲れさまでした。

(午後 5 時 30 分閉会、所要時間 2 時間 30 分)